

アイガモといっしょに米作り



型付け：山本 寛人氏より寄贈

< 田植えの準備をする5年生 >

平成15年

小松市立木場小学校

米作りカレンダー

春

- ・株ふみ
- ・畦塗り
- ・しろかき
- ・田植え
- ・ネット張り
- ・アイガモ入れ

夏

- ・カモの世話
- ・水管理
- ・かかし

秋

- ・稲刈り
- ・はさかけ
- ・だっこく
- ・収穫祭

冬

- ・わら工芸品作り
- ・カモの世話
- ・ふ化の準備



泥あそび ほんとは 人間こううん機

春

株ふみ(4月) 2・3年

まだ水も冷たい4月。2・3年生は米作りの最初の仕事、株ふみです。 昨年の稲の古株は、土の中に埋め込まれて今年の稲の肥料になります。化学肥料や農薬を使わない安全な米作りが私たちのアイガモ農法です。

子どもたちは、株が無くなると跳んだり走ったり。いつのまにか楽しい泥んこ遊びにかかります。この泥遊びは、実は機械の入らない田んぼを耕す作業でもあります。



畦ぬり(4月)

田んぼの畦は、いつもみんなが歩くので、だんだんやせていきます。5・6年生は泥をつんで今年一年の、田んぼの水を守ります。



春 2

しろかき(4月) 4年

4年生の仕事は代かき。トラクターの入らない田んぼは、子どもたちが主役。大きな丸太を曳いて、表面をならします。



田植え(5月) 4・5・6年

町の田植えが終わった頃、学校は田植え。今年も、もち米の「かぐらまい」を植えました。

「無くなったー」「投げるぞー」

「こっちもー!」「きゃー!」

田植えは、6年生はさすがに3年目、初めての4年生の見本になるくらい上手です。

植え終わった田んぼでは、苗があっちを向いたりこっちを向いたり。いろんな友だちがいる学校とよく似てるな。でも、これから元気に育っていきます。この時期、周囲の山は藤の花が満開です。

子どもらの 声高らかに 藤の花

夏

< モリアオガエルの卵塊 >



卵塊の 白さきわだつ ネットかな

ネット張り(5月) 先生

アイガモが逃げないように、また動物におそわれないようにネットを張ります。ネットには電流が流れていて金属線にふれるとビリッと感電します。

そして、モリアオガエルの産卵の時期を迎えると田んぼの草に、また防護ネットにも綿のように真っ白な卵塊が見られます。

アイガモ入れ(6月) 5・6年生

6年生がふ化させたアイガモの雛を田んぼに放します。今年は4羽のアイガモがふ化しました。かわいかわいアイガモはこれから田んぼの草取りが仕事です。そして、雛を育てた6年生に代わって5年生が毎日アイガモの世話をします。

電気の流れる線の一部が水に浸かっていると、ろう電して効果がなくなるので、当番の子は毎日テスターを使って点検をします。



アイガモ農法？

■ アイガモ農法の良いところは何？

自然の恵みで育つ安全な米

- ・雑草を食べてくれるので、つらい除草作業や除草剤を使わなくてよい
- ・害虫もエサにして食べる。よく見ているとくちばしで叩いて落として食べている。
- ・カモのふんは、米の肥料になる。
- ・足でどろをかきまぜてくれるので草が生えにくい。
- ・農薬や肥料のお金がかからない。でも、カモのエサ代がかかるけど。

■ アイガモ農法で困ることは？

アイガモがおそわれる。

・雛のあいだはカラスやトビがねらっています。だから、釣り糸をいっぱい張って雛を守ります。ふくろうが糸にかかって死んでいたこともありました。

・けものもねらっています。

ネットの外側の畦には、けものの足跡がよく残っています。これまでネットの外に出て殺されたアイガモがたくさんいました。でも、ここ2年はネットの管理が上手になってアイガモがおそわれなくなりました。

ネットには夜間に、バッテリーを使った電流が流れていて、けものの被害を防いでいます。

夏～秋

かかし(8月) 1・2年

夏の本番、好天に恵まれて育つ稲。

穂が伸びてくると、そろそろアイガモの仕事は終わり。穂がアイガモに食べられる前に田んぼから引き上げです。

代わって1・2年生が作ったかかしが、スズメから米を守ります。でも実際にはあまりスズメは田んぼの近くにはこないようです。



はさ作り(9月) 先生

稲刈りが近づくと、稲の乾燥のための「はさ」を作ります。「はさ」は乾燥機が普及してとても珍しくなりました。

木場町の方の好意で昔から使われていたものを寄付していただいたものです。男結びができないとこの仕事はできません。

<アイガモはどんどん大きくなります>



あいがもに かわってかかしが みはりばん

かゆくない？刈って運んで はさにかけ

秋

稲刈り・はさかけ(9月)

4・5・6年、町の先生

秋の実り！今年もりっぱな米ができました。さあ稲刈りです。でも、刈ることは上手なのですが、結ぶ作業はとても難しく、町の先生にお手伝いを頼みます。クルクルと回してさっと稲の束ができていくのにびっくりです。水の多い田んぼなので、泥だらけになって稲を刈ります。足下には夏の間、に数を増やしたメダカが逃げ回ります。



はさ：藤田 藤平氏より寄贈



だっこく(10月) 5・6年

稲刈りから約20日。雨にあいながらも乾燥した稲をコンバインで脱穀です。

とれたわらは、わら工芸の材料になります。

わらぞうり 二人あわせて はいてみる

冬

■ わら工芸品作り(12月)

リース作り 1・2年

稲わらのリースに、リボンと飾りをつけます。

わらなわ作り 3・4年

わら細工の基本。縄作りに挑戦するのは3・4年生。
長い縄ができて、なわとびをしている子もいます。



わらぞうり作り 5・6年

町の先生から習うぞうり作り。これは難しい！でもなんとか片足を完成させて友だちと二人で一足！さあ歩いてみるぞー

田んぼの生き物

■ 動物

<魚> ・メダカ ・ドジョウ・ゴリ

<昆虫> ・クモ ・トンボ

・ケラ 珍しくなりました。穴掘りの名人です <その他> ・カワニナ



< 1mを超えるヒキガエルの卵塊 4月 >



< 春一番、アカガエルの卵塊 2~3月 >

田んぼのメダカ

今はたくさんのメダカが田んぼと周囲の水路に生息しています。でも、これは平成13年に町の水路で捕まえたメダカを移植したのが増えたのです。

当時田んぼに放した10匹程度のメダカが今は数百匹に増え、群を作って田んぼを泳いでいるのです。

■ 植物

・コナギ ・ヨシ ・ミゾソバ ・セリ

・タヌキモ 珍しい食虫植物です。ちいさな袋でミジンコなどをつかまえます。

<タヌキモ>



周辺の動物

昆虫

- ・オニヤンマ
- ・シオカラトンボ
- ・ヒョウモンチョウ
- ・カラスアゲハ
- ・モンキアゲハ



<クマの足跡、H14>

動物

- ・ウサギ
- ・タヌキ
- ・キツネ
- ・クマ
- ・モグラ
- ・テン
- ・ニホンアカガエル
- ・モリアオガエル
- ・ヒキガエル
- ・アオダイショウ

鳥

- ・キジ ・トビ
- ・スズメ
- ・ハシボソカラス
- ・セグロセキレイ
- ・ハクセキレイ
- ・コゲラ ・エナガ
- ・シジュウカラ
- ・ヤマガラ
- ・ジョウビタキ



<タヌキ?の足跡>



<イヌかキツネの足跡>

<ウサギの足跡>



四季

- 3月 アカガエルの卵塊
- 4月 サクラにギフチョウ、ヒキガエル卵塊
- 5月 フジ満開
- 6月 モリアオガエル卵塊
- 10月 セイタカアワダチソウ
- 11月 雪迎え(くもの糸)
- 1月 積雪

< サクラにギフチョウ >



小春日に 雪を知らせる くもの糸



< 校庭を飛ぶ蜘蛛の糸 >

雪迎え(飛行蜘蛛)

毎年、11月頃(晩秋)の晴天の日、グラウンドの上を無数のクモの糸がゆっくりと流れていきます。ほとんどは、糸だけなのですが、中には小さな子グモがしがみついていることもあります。

雪の季節を迎える前に、生息域を広げるために、子グモが風に乗って飛ぶ現象で東北地方、山形では「雪迎え」として有名です。しかし、この地域ではほとんどの人が気付いていない珍しい?現象です。

私たちの米作り

はるかなる 祖先に続け 米作り



足早に、私たちの一年を追ってみました。

木場の町は、山を背に、前に木場淵を臨む非常に自然豊かな地域です。学校田も町の方の好意で借用し、自由に使わせていただいている休耕田です。田植えに稲刈り脱穀と、米作り全般にわたって町の方のご協力をいただいています。文字通り太陽と水の恵み、地域の方々の協力、そしてアイガモのおかげでできる米作りといえるでしょう。

米作りを通して

- ・「食べることは生きること」食べるために働くことの大切さを体験を通じて学びます。
- ・ずっとずっと以前から日本の国を支えてきた稲とのかかわり、生み出されてきた生活の知恵、そういった伝統・文化の一端にこの体験を通じて触れたいと思っています。
- ・町の人たちとのかかわり、自然とのかかわりを大切にしています。
- ・米作りを通じて生じるたくさんの出来事、疑問などを力を合わせて解決していきます
- ・根気強く、責任を持って取り組む強い心を育てていきます。



米作り・体験活動に協力いただいた方々

田植え	稲刈り	わら工芸
出淵 たき子	片山 昇	岡田 すい子
出淵 敏夫	出淵 たき子	加藤 静子
	出淵 敏夫	北 初枝
脱穀	藤田 藤平	藤田 藤平
山本 寛人	元 儀三郎	山本 一江
	吉田 彦右 <small>工</small> 門	吉田 彦右 <small>工</small> 門
	片山 寅雄	山岸 操
休耕田提供	北 康弘	片山 昇
吉田 博義	藤田 清進	中外美子
		山本 和江

全体を通じて協力・指導
出淵 敏夫・たき子さん(佐美町)
小松市農林総合事務所
JA小松市栗津支店

<山の斜面のスマレ>



<水田雑草コナギ>



<周辺に咲くギボウシ>

